

調達要求番号：

陸 上 自 衛 隊 仕 様 書			
物品番号	6 6 6 0－2 8 3－2 4 8 5－5	仕 様 書 番 号	
携 帯 気 象 計 2 形	G C－Z 6 0 0 2 4 8		
	作	成	平成 2 5 年 4 月 1 7 日
	変	更	年 月 日
	作成部隊等名		補給統制本部 化学部

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、陸上自衛隊において使用する市販品の携帯気象計について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は、次によるほか、G L T - C G - Z 0 0 0 0 0 1 による。

1.2.1

市販品

一般市場に流通している物品でカタログなどによって明確にされているものをいう。

1.2.2

カタログ

この仕様書においては、製造者等の使用しているカタログをいう。

1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 規格

N D S Z 8 0 1 1 角形銘板

b) 仕様書

G L T - C G - Z 0 0 0 0 0 1 陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書

1.3 製品の呼び方

製品の呼び方は、表 1 による。

表 1－製品の呼び方

製品の呼び方	物品番号
携帯気象計 2 形	6 6 6 0 - 2 8 3 - 2 4 8 5 - 5

2 一般的事項

本仕様書に規定していない事項は、製造者の規定する仕様及び社内規格並びに商慣習による。

3 製品に関する要求

3.1 品名及びカタログ製品名

品名及びカタログ製品名は、調達品目表による。

3.2 性能等

性能等は、調達品目表による。

3.3 製品の表示

製品の表示は、GLT-CG-Z000001の2.3によるほか、NDS Z 8011の1種銘板の凸式エッチング40号C2801Pを取り付けるものとし、表示内容は、物品管理区分標識、品名、物品番号、製造番号、製造年月又は納入年月及び製造者名又は納入者名とする。

なお、物品管理区分標識は、GLT-CG-Z000001の図2bによる。

4 品質保証

監督及び検査は、契約担当官等が定める監督・検査実施要領による。

5 出荷条件

出荷条件は、商慣習による。

6 その他の指示

6.1 附属品

附属品は、調達品目表による。

6.2 納入書類など

納入書類などは、調達要領指定書によって指定する場合を除き、表2による。

表2－納入書類など

番号	名称	部数	提出先
1	取扱説明書 ^{a)}	1	現品に添付
		1 ^{b)}	陸上自衛隊補給統制本部（化学部長）
2	品質保証書	1	現品に添付
注 ^{a)} 細部は、GLT-CG-Z000001の7.1による。 ^{b)} 取扱説明書の陸上自衛隊補給統制本部（化学部長）への提出部数は、調達数量にかかわらず1部とする。ただし、製造者が同一で、過去に納入実績を有し、かつ、前回納入時と変更がない場合は、調達要領指定書によって特に提出を求める場合を除き、提出を省略することができるものとする。			

6.3 仕様書に関する疑義

この仕様書の内容に関して疑義が生じた場合は、契約担当官等と協議するものとする。

調 達 品 目 表

調達要求番号		仕様書番号	G C - Z 6 0 0 2 4 8
調達要求年月日		作成年月日	平成25年 4月17日
物品番号等	6660-283-2485-5	作成部隊等名	補給統制本部 化学部

1 調達品目

品 名	カタログ製品名 ^{a)}
携帯気象計	有限会社サイエンスファーム社 簡易気象計セット S F X - 1 R 又は同等以上のもの（他社の製品を含む。）
注 ^{a)} この調達品目表に記載したカタログ製品名は、製品を選定するときの参考として例示したものであり、当該製品を指定するものではない。	

2 構成

構成は、次による。

番号	品名	数量
1	風向風速計	1
2	方 位 計	1
3	気圧高度計	1
4	アスマン乾湿度計	1
5	棒状温度計	1
6	吹き流し	2
7	支柱(風向風速計用)	1
8	支柱(乾湿度計用)	1
9	支柱(吹き流し用)	2
10	支柱用ケース	1
11	収納箱（キャリングケース）	1

3 性能等

同等と判断する要求基準は、次による。

- a) 全構成品は、雨天時でも使用可能なように防水機能を有するものとする。
- b) 全構成品は、商用電源及びバッテリーを使用しないものとする。
- c) 吹き流しの材料はナイロンとし、吹き込み口口径100 mm、吹き出し口径50 mmを標準とする。
- d) 支柱(風向風速計用)は、長さは1450 mm±50 mmとする。
- e) 支柱(乾湿度計用)は、長さは2160 mm±50 mmとする。
- f) 支柱(吹き流し用)は、長さは1000 mm±50 mmとする。
- g) 収納箱（キャリングケース）の寸法は、縦450 mm×横550 mm×高さ250 mm以下とし、質量は、6 kg 以下とする。
- h) 風向風速計の風向測定範囲は、16方位とする。

調 達 品 目 表 (続 き)

- i) 風向風速計の風速測定範囲は、0～20 m/s とし、最小目盛りは、1 m/s とする。
- j) 風向風速計の風速測定精度は、10 m/s 以下では±0.6 m/s 以内、10 m/s 以上±10 %以内とする。
- k) 方位計の磁針は、軸針上で360°円滑に回転するものとする。
- l) 気圧高度計の気圧測定範囲は、590 hPa～1400 hPa を標準とする。
- m) 気圧高度計の高度測定範囲は、0～4500 m とし、高度最小目盛りは、20 m 以下とする。
- n) 乾湿度計の種類は、アスマン乾湿計とし、動力は、ぜんまい式とする。
- o) 乾湿度計の測定範囲は、－30℃～50℃とし、最小目盛りは0.5℃以下とする。
- p) 乾湿度計の測定精度は、±0.5℃以下とする。
- q) 棒状温度計の測定範囲は、－40℃～50℃とし、最小目盛りは1℃以下とする。
- r) 棒状温度計は、専用収納ケース付きとする。
- s) 吹き流しは、吹き込み口に風が安定して入るものとする。
- t) 支柱用ケースは、支柱(風向風速計用)、支柱(湿度計用)及び支柱(吹き流し用)が収納できるものとし、携行用の負いひも又は取っ手をつけるものとする。
- u) 収納箱は、構成品(支柱を除く。)を収納できるものとし、携行用の負いひも又は取っ手をつけるものとする。
- v) 収納箱の中は、各機器を固定できる(機器保護のため)緩衝材を取り付けるものとする。
- w) 収納箱の蓋裏面に、湿度換算表の金属銘板を取り付けるものとする。

4 附属品

番号	品名	数量	注記
1	滴瓶	1	a) 容量50 mL 以上 b) スポイト付き
2	気圧高度計調整金具	1	—

調査結果報告書

調 達 要 求 番 号		仕 様 書 番 号	G C - Z 6 0 0 2 4 8
調 達 要 求 年 月 日	平 成 年 月 日	作 成 年 月 日	平 成 2 5 年 4 月 1 7 日
物 品 番 号 等	6660-283-2485-5	作 成 部 隊 等 名	補給統制本部 化学部

以下のとおり調査を行ったが、要求仕様を満たす市販品は、1種類しか確認できなかった。

品 名	要求仕様	調査方法	確認できた市販品の カタログ製品名
携帯気象計2形	要求仕様は、別紙による。	☒ カタログ { カタログ名 ・サンクアスト産業用 研究機器 ・ヤガミ理化機器 ・簡易気象計セット S F X - 1 R ☒ 企業への問い合わせ { 問い合わせ先 ・(有)サイエンスファーム ・(株)S . T . J A P A N ☒ 他機関への問い合わせ { 問い合わせ先 ・海上自衛隊補給本部 ・航空自衛隊補給本部 ☒ インターネット ☐ その他	(有)サイエンスファーム 簡易気象計セット S F X - 1 R

携帯気象計 2 形要求仕様

1 構成

構成は、表 1 による。

表 1－構成

番号	品名	数量
1	風向風速計	1
2	方 位 計	1
3	気圧高度計	1
4	アスマン乾湿度計	1
5	棒状温度計	1
6	吹き流し	2
7	支柱(風向風速計用)	1
8	支柱(乾湿度計用)	1
9	支柱(吹き流し用)	2
1 0	支柱用ケース	1
1 1	収納箱 (キャリングケース)	1

2 性能等

同等と判断する要求基準は、次による。

- a) 全構成品は、雨天時も使用可能なように防水機能を有するものとする。
- b) 全構成品は、商用電源及びバッテリーを使用しないものとする。
- c) 吹き流しの材料はナイロンとし、吹き込み口径 1 0 0 mm、吹き出し口径 5 0 mm を標準とする。
- d) 支柱(風向風速計用)は、長さは 1 4 5 0 mm $\pm$ 5 0 mm とする。
- e) 支柱(乾湿度計用)は、長さは 2 1 6 0 mm $\pm$ 5 0 mm とする。
- f) 支柱(吹き流し用)は、長さは 1 0 0 0 mm $\pm$ 5 0 mm とする。
- g) 収納箱 (キャリングケース) の寸法は、縦 4 5 0 mm $\times$ 横 5 5 0 mm $\times$ 高さ 2 5 0 mm 以下とし、質量は、6 kg 以下とする。
- h) 風向風速計の風向測定範囲は、1 6 方位とする。
- i) 風向風速計の風速測定範囲は、0 $\sim$ 2 0 m/s とし、最小目盛りは、1 m/s とする。
- j) 風向風速計の風速測定精度は、1 0 m/s 以下では $\pm$ 0. 6 m/s 以内、1 0 m/s 以上 $\pm$ 1 0 % 以内とする。
- k) 方位計の磁針は、軸針上で 3 6 0 $^{\circ}$ 円滑に回転するものとする。
- l) 気圧高度計の気圧測定範囲は、5 9 0 hPa $\sim$ 1 4 0 0 hPa を標準とする。
- m) 気圧高度計の高度測定範囲は、0 $\sim$ 4 5 0 0 m とし、高度最小目盛りは、2 0 m 以下とする。
- n) 乾湿度計の種類は、アスマン乾湿計とし、動力は、ぜんまい式とする。
- o) 乾湿度計の測定範囲は、 $-30^{\circ}\text{C}\sim 50^{\circ}\text{C}$ とし、最小目盛りは 0. 5 $^{\circ}\text{C}$ 以下とする。
- p) 乾湿度計の測定精度は、 $\pm 0. 5^{\circ}\text{C}$ 以下とする。
- q) 棒状温度計の測定範囲は、 $-40^{\circ}\text{C}\sim 50^{\circ}\text{C}$ とし、最小目盛りは 1 $^{\circ}\text{C}$ 以下とする。
- r) 棒状温度計は、専用収納ケース付きとする。

- s) 吹き流しは、吹き込み口に風が安定して入るものとする。
- t) 支柱用ケースは、支柱(風向風速計用)、支柱(湿度計用)及び支柱(吹き流し用)が収納できるものとし、携行用の負いひも又は取っ手をつけるものとする。
- u) 収納箱は、構成品（支柱を除く。）を収納できるものとし、携行用の負いひも又は取っ手をつけるものとする。
- v) 収納箱の中は、各機器を固定できる（機器保護のため。）緩衝材を取り付けるものとする。
- w) 収納箱の蓋裏面に、湿度換算表の金属銘板を取り付けるものとする。